

2023年度 ほたるサポーターの紹介

※本誌への紹介を希望されない方は掲載していません。

寄付者 10口以上のご寄付をいただきました(3000円/1口)

さとう行政書士・社労士事務所(下記にご紹介しています)

北田俊夫 沢井進一 金崎いよ子 古川道夫 中 明子

寄付者 3口以上のご寄付をいただきました(3000円/1口)

工房シーダーノ 下田義春 山本藤太郎

寄付者 1口以上のご寄付をいただきました(3000円/1口)

BIWAKO PEARLS SURPRISE NPO法人 碧いびわこ

加村賀勇 小林靖雄 柴田恵美子 庄 郁雄 竹内辰郎
竹山瑞祥 平山奈央子 中 信二 長尾幸子 森 雄三
守本輝夫 山口幸江

賛助会員

東 善広	石田昇平	井野清治	岩崎祐子	岩本照美
上田一好	上野加寿紀	大谷明代	大瀬洋子	金崎 崇
川上奉代	北野 進	倉嶋昭廣	蔵田良美	小西由美子
杉野久男	須佐見芳江	瀬川 香	瀧沢 守	壇上道典
田島龍一郎	多田 稔	田中三千子	谷口淑恵	寺田光江
戸田博通	中 秀行	長尾克矢	中島 耕	並河 聡
野田浩資	廣田昌代	福永理美	藤井明德	藤井 清
藤本幸子	古川晴美	細谷卓爾	本田恭子	松居弘次
松村順子	三浦豊司	森 雄三	安田英行	山口幸江
山添史郎	山田巨宏	山本藤太郎		

旭化成(株)守山製造所 おたがいさんネットワーク 株式会社かめやクリーニング
株式会社 清原 クラブサタクロース 湖南・甲賀環境協会
湖南ホームタウン(社会福祉法人滋賀県障害児協会) これから行動隊
さとう行政書士・社労士事務所 NPO法人滋賀環境カウンセラー協会
鉄人工房マツヤ (有)バンカー保険事務所
びわ湖・大津ノルディックウォーキングクラブ 株式会社 森川商店
社会福祉法人守山向日葵会 若鮎こども園 守山市金融協議会
NPO法人 ゆうらいふ
一般社団法人守山野洲市民交流プラザ

今月の詩

おなじ町 おなじ店で 日記買う
程のよいスカート丈の学生に 石田和正
居てくれたんだ大和撫子 N.S.
春の色桜がそろそろ顔を出す 飛真

投稿者募集中!!



豊穣の郷 Vol.101 人と水環境のネットワーク

2024年3月25日発行 発行部数 1,600部

発行 認定NPO法人びわこ豊穣の郷 E-mail houjiyounosato@lake-biwa.net
理事長 金崎いよ子 URL http://www.lake-biwa.net/akanoi/
住所 守山市勝部五丁目10-25
TEL 077-583-8686 (有線 583-8686)
FAX 077-558-5007

1面 目田レンジャー全国大会出場
2面 水辺の楽校、川づくりフォーラム
3面 クリーン大作戦、P&W設立会、HPリニューアル
4面 今月の詩、しじみのひとりごと



発表の様子

皆さまありがとうございました 一ふるさと納税一

守山市ふるさと納税にご寄付いただきありがとうございました!!
本年度、豊かな市民活動のまち応援事業の助成金を活用し水辺の楽校やクリーン大作戦などの活動をしました。(活動資金:1,511,600円)
次年度当団体を指定した寄附は、総額3,631,000円(活動資金:1,815,500円)
皆さまのお志を有効に活かせるよう精進いたします。

ボランティア

ゲンジボタルの飛翔調査を

一緒にしませんか?



申込み、詳細はこちらのQRコードでご確認ください!

これからの活動予定

◎ 守山ほたるパーク&ウォークのぼり立て	開 4月18日(木) 9:30~	集 ほたるの森資料館
◎ 第21回 通常総会	開 5月11日(土) 10:00~12:00	場 守山市民交流センター(さんさん守山)
◎ 市内飛翔調査	開 5月10日(金)~6月9日(日)	場 市内河川
◎ 第21回守山ほたるパーク&ウォーク	開 5月19日(土) 25日(土) 26日(日)	場 守山市民運動公園
◎ 赤野井湾探検会	開 7月21日(日) 9:00~12:00	場 赤野井湾一帯
◎ 生きもの観察教室	開 8月3日(土)~8月5日(月)	場 くつぎの森自然研修センター
◎ 水辺の楽校(夏編)	開 8月25日(日) 9:00~12:00	場 目田川河川公園



しじみのひとりごと

年を重ねると(私73歳)時間の経つのが早く感じます。「20歳の若者の1年は経験時間の5%だが私の場合1.3%、互いの記憶量の割合で感じ方が変わる」と言われています。高齢者の一年は直ぐに過ぎます。また「集中力」が高いと短期的に時間の経過を忘れることも。時間は万人に等しく割り当てられていることは間違いないので、思い直して今年は時間を意識して使うことにします。できればゆっくり過ぎてほしい。短期的な時間経過について、ある作曲家が「長い前奏曲は聞かれないので意識的に短くしている」と言うのを聞きました。若者はイントロも短くないと聞かなくなっているようです。そんなに急いでどこに行く?

M・T

祝2連覇

目田レンジャー 全国大会出場決定

12月3日(日)琵琶湖博物館で開催された「こどもエコクラブ壁新聞コンクール」で昨年に続き大賞を受賞しました。創始メンバー4名に加え今年はグリーン(2年)、スイート(5年)、レッド(5年)とメンバーが増え7名と、ますますにぎやかです。琵琶湖博物館館長より「昨年に続き大賞おめでとうございます。調べたことがよくまとめられていて、地域の川を見つめて、自分たちが目指す川づくりの目標がはっきりしています。川のために子ども達自ら考えて実行している点が大変良かったです。」と講評をいただきました。3月24日(日)滋賀県代表として国立オリンピック記念青少年総合センターで行われる「こどもエコクラブ全国

フェスティバル」に参加します。また、12月8日(金)守山市役所新市庁舎にて市長へ表敬訪問をおこないました。「淡海の川づくりフォーラム」準グランプリ、「こどもエコクラブ壁新聞コンクール」大賞を報告し、7名で発表。また、「ホテルの自生を目指して市民の方々との川づくり」についてブルーが発表をおこないました。市長は元気いっぱいに話す目田レンジャー達の話が大きくなづいて聞き、今後の協力を約束してくださいました。



受賞した壁新聞



壁新聞を前に喜ぶ目田レンジャー

水辺の楽校 (春編)

3月10日(日)に目田川河川公園にて水辺の学校春編を行い、約50人の参加がありました。寒空の下、はじめにホタルクイズに挑戦して楽しく知識を深め、ごみ拾いをして、ゲンジボタルの幼虫を放流しました。クイズはどれも興味深く、子どもたちと手をあげて楽しく学習できました。また、自分たちの手で直接放流をしたあと、ウッドオーナメントをホタルに思いをこめて作成す

ることで、皆さんのほたるへの気持ちがいよほど深まったと思います。そして、アルミ缶を再利用し、はんごうすいさんを行いました。寒い寒いと言いながら温かい豚汁と一緒に食べる少しおこげの付いたご飯はとても美味しかったです。この経験は災害などの事態に備えることができるいい機会になりました。

(インターンシップ生 富樫)



ホタル幼虫の放流



ウッドオーナメントを取りつけた看板



アルミで
はんごうすいさん



豚汁とごはん

川づくりフォーラム開催^{2/11}①

～守山くらしの中の水辺・教えてあなたと水の物語～

今年の川づくりフォーラムも水辺の暮らしと思い出について話し合いました。守山と歴史的に深いつながりがある旧野洲川南流や繁盛池(はんじょういけ)があったころの、日々の暮らしや自然を見る感覚についてお話をお聞きすることができました。「繁盛池のあった頃は子どもだったからあまり近くまで行かなかった。」とお話からは、湖畔に近い繁盛池の辺りはヨシ地が広がり田舟が行き来するような場所だったのだと思い描くことができます。子どもたちが近寄らないことから、自然に近い暮らしは常に災害が隣り合わせであったと容易に想像できます。また、中洲学区の方の野洲川のお話とても興味深いです。「子どものころ、川が白く見えたらすぐに帰るように言われていた」とのこと。これは、川が増水して河川敷の竹藪を

濁流が飲み込む様子を表したものです。荒れ狂う水と巻き込まれた笹の葉で川全体が白く見えるからだそうです。大人たちは子どもが川や木々の様子から自然が変化することの危険性を読み取る力を備えるように知恵を伝授していたことがわかります。このように、みなさんの思い出話には自然との付き合い方を知るうえでとても大切な内容が散りばめられています。近年は環境再生や地域の歴史の掘り起こしだけでなく、災害教育としてもかつての暮らしぶりから学ぶ伝承の大切さが注目されています。現在の川はかつてのように氾濫が当たり前の川ではありませんが、自然の脅威を感じる感性を育むことも大切だと感じました。野洲川の改修で湧水や小川にせせらぎがなくなった地域の方は「ワシらは水がなくなって困ってるけど、琵琶湖の水



話題提供をする柏尾さん

位があがるとどこか水に浸かる地域が出てくるんだろうから仕方ない。」とおっしゃった。我田引水ではなく、下流部や他地域への配慮が当たり前にある琵琶湖周辺部の暮らしの感覚に触れ、豊かな水と共に暮らしがあった地域の人々の水への意識の高さと懐の深さを改めて知りました。このような暮らしの歴史と知恵をぜひ次世代に受け渡したいと思います。

赤野井湾・小津袋クリーン大作戦

3月2日(土)かつての綺麗な赤野井湾を取り戻すため、「赤野井湾・小津袋グリーン大作戦」を実施しました。玉津小津漁業組合や滋賀銀行、地元自治会の方々など約70名にご参加いただきました。活動に先立ち、森中高史守山市長より、「これまでの活動の成果は間違いなく見られています。」といった心強いお言葉を頂きました。その後、参加者の方々の協力・交流の元、約2時間に及ぶ清掃活動を実施し、160kgのごみを回収しました。

途中、スタッフよりマイクロプラスチック等の問題点について説明が行われました。本活動を通し、河川環境の維持にはこのような地道な活動が寄与しており、地域一丸で取り組むことでこれだけの結果を残せるのだと深く感じました。

(インターンシップ生 青木)



ごみ拾いの様子



分別をしました

煙草の吸殻に気付き声を出したことで、周囲の大人の方々も足元を注視し始めました。たった一人でも動けば、その姿は広がるのだと感じました。
参加のお子さんの声

2024(第21回) 守山ほたるパーク&ウォーク 設立会

～いよいよ今年もはじまりました!～

3月12日(火)『2024年(第21回) 守山ほたるパーク&ウォーク』設立会を、守山市立図書館で行いました。実行委員会規約、開催要項、予算案が承認され、2024年度実行委員長に、当法人の金崎いよ子理事長、副実行委員長には守山青年会議所酒井洋輔理事長が選出されました。いよいよ今年の守山ほたるパーク&ウォークが始動します。守山を訪れる多くの観賞者の皆さんにとって、たくさんの楽しい思い出になるよう、みんなで頑張りましょう!



副実行委員長 酒井さん



実行委員長のあいさつ



ホームページリニューアル

2024年春びわこ豊穡の郷のホームページが新しくなります。今までより見やすく、利用しやすくなるよう製作中です!さらに、スマートフォンからも使いやすくなります。どうぞお楽しみに!